

エボラ出血熱患者発生時の対応訓練を実施します

県内において、一類感染症である「エボラ出血熱」の疑い患者が発生した場合に備え、保健所による患者移送及び香川県立中央病院での患者受入れに関する対応訓練を行います。

1 日時 令和6年10月17日(木) 午前10時～午後4時 (取材は一部となります)

2 場所 (1)香川県三豊合同庁舎 (観音寺市坂本町七丁目3番18号)
集合:10:00 香川県三豊合同庁舎 1階診察室

(2)香川県立中央病院感染症病棟 (高松市朝日町一丁目2番1号)
集合:13:45 県立中央病院救急外来入口

3 実施機関

香川県立中央病院、広島検疫所高松空港出張所、三観広域行政組合消防本部、
香川県警察、香川県西讃保健所、香川県感染症対策課 等 約30名

4 訓練内容

エボラ出血熱発生地域から帰国した方が発熱症状を呈し、保健所に連絡があったという想定で、訓練を実施

詳細は、別紙:令和6年度香川県エボラ出血熱患者発生時対応訓練スケジュール

5 取材申込み

別紙「取材申込み」を、10月15日(火)までにFAXにて送付してください

6 その他

- ・天候や感染拡大の状況によっては中止になる場合があります。
- ・香川県立中央病院は、建物の外からの取材となります。病棟内のスペースは限られているため、病棟内での取材は、代表撮影でお願いします。
- ・香川県立中央病院での取材の場合は、マスク着用をした上で外来駐車場を御利用下さい。

エボラ出血熱

病原体は、エボラウイルス、主として患者の体液等(血液、分泌物、吐物、排泄物)に触れることにより感染する。2014～2015年に西アフリカを中心に流行した際には、日本でも疑い患者が発生したが、確定患者はいない。感染すると2～21日(通常は7～10日)の潜伏期の後、発熱、倦怠感、食欲低下、頭痛、消化器症状が現れ、重症例では神経症状、出血症状などが見られる。感染予防は、流行している地域への旅行を控える、野生動物や患者に直接触れないなどが一般的である。

令和6年度香川県エボラ出血熱患者発生時の対応訓練 スケジュール

令和6年10月17日（木） 会場：香川県三豊合同庁舎、香川県立中央病院

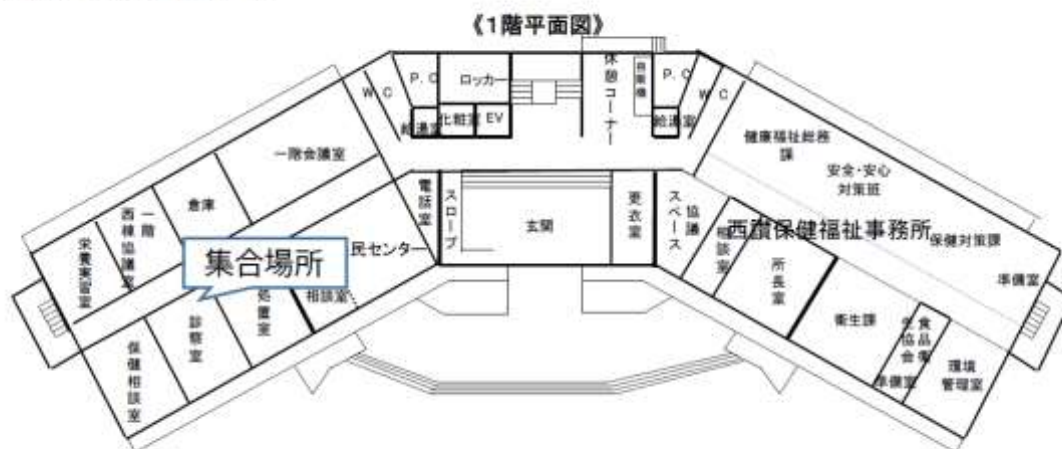
時刻	項目	対応	取材場所
10:00	訓練開始の挨拶等	西讃保健所	
当日午前 連絡調整訓練			
10:05	検疫所から感染症対策課へ連絡 感染症対策課から保健所へ連絡	高松空港出張所 感染症対策課	
10:20	保健所所内対策本部設置・協議 保健所から健康監視対象者へ連絡 所内協議、疑似症患者対応を決定 保健所から感染症対策課に報告 保健所から三観広域行政組合消防本部に患者搬送 依頼	西讃保健所	※ 取材可 西讃保健所での取材
連絡調整訓練、医療機関での対応			
11:10	保健所から中央病院へ受け入れ要請	西讃保健所	※ 取材可 西讃保健所での取材
	中央病院院内緊急感染症病棟運営委員会 受入決定	中央病院	
11:25	中央病院から保健所へ入院の受入決定・予定時間を 連絡 患者受入準備	中央病院	
当日午後 消防車両での疑似症患者搬送			
12:40	保健所医師が患者診察	西讃保健所	※ 取材可
13:00	保健所→中央病院へ消防車両が出発 パトカー先導のもと中央病院へ移動 (高速道路を利用) 保健所から中央病院に患者到着時刻連絡	三観広域行政組 合消防本部 県警察 西讃保健所	西讃保健所での取材
疑似症患者の受入れ、検体採取、受け渡し等			
14:10	疑似症患者が中央病院到着、受入	西讃保健所	※ 取材可 病院駐車場での取材
14:20	病院職員が患者の検体採取、搬送準備、検体搬送者 へ受け渡し 病室等で各種検査、処置	中央病院 中央病院	病棟内での取材 ※ 代表撮影
14:25	搬送袋処理、ストレッチャーの消毒 消防車両の消毒 検体搬送の準備（車両への乗込み）	西讃保健所 西讃保健所 県警 感染症対策課	※ 取材可 病院駐車場での取材
15:10	ミーティング		

◆ 注意点

- ・取材は一部のみとさせていただきます。
- ・駐車場の利用は、患者さまや来訪者への配慮をお願いします。

【会場見取り図】

香川県三豊合同庁舎



香川県立中央病院

